

平成29年9月20日 在宅医療・介護連携推進研修会・第2回意見交換会

1部 研修会内容 「地域包括ケアシステムにおける薬剤師・薬局の役割」

講師 黒川 淳一 氏（アスカ薬局石岡店）

2部 意見交換会 「多職種の方が薬剤師にやってもらいたいこと」

## ■会場の様子



H29.9.20開催 在宅医療・介護連携推進意見交換会（ワーキング）グループワークまとめ

カテゴリー	多職種の方が薬剤師にやってもらいたいこと
服薬指導管理	独居の方の内服管理の指導
	独居で認知症のある利用者へ薬剤管理に入ってもらいたい
	軽度認知症の方の服薬チェック
	在宅ターミナルの患者の薬剤管理
	家族への服薬状況確認
	服薬介助の同行訪問
	訪問して残薬の確認or服薬のアドバイスをして欲しい
	精神疾患の方の内服管理（飲みたくない理由があり飲んだふりができる）
	薬剤の説明の充実
	サプリメントや市販薬についての相談
	塗り薬等の使い方の指導確認
	インシュリン注射の指導
	副作用の説明
	飲みにくい薬を飲まない位でどの位でどうなるのか教えて欲しい
	誤薬のとき対応指示
	薬の管理をやると言い張る家族を説得して欲しい
	服薬の時間の管理
	訪看で服薬管理しがちだが薬の効能説明等は薬剤師にお願いするべき
	本当に服用できているのかの確認（3日に1回でも飲めていると返答するかも）
	内服の消費期限について
薬剤師介入のタイミング	
処方調整	服薬回数の調整
	一包化が必要な人がいた場合相談に乗って欲しい
	服薬拒否がある方への対応方法（形状の種類等のアドバイス）
	その方に合った忘れずにお薬を飲む方法
	薬の一元化
	一包化の際間違った内容があったりする
残薬整理	残薬の整理
	余った薬の回収と処理指示
	余った薬の買い取り
	院内処方された薬の残薬管理
医師との連携	医師と重複や量について相談して欲しい
	たくさん服用している人の相談（減らす）
	薬の数が余る方をDrにフィードバックする
	残薬が多い場合担当Drに残薬を知らせて欲しい
	薬局で得た患者の情報を病院にフィードバック
	Drに直接言いづらい部分で間に入ってもらいたい
	相談先がDrなのか薬剤師なのかわからない
	Drから自分で服薬調整するよう言われて余った薬をどうしていいかわからない

カテゴリー	多職種の方が薬剤師にやってもらいたいこと
他職種との連携	服薬確認→できてなければCMや包括に連絡
	気軽に相談できる顔の見える関係づくり
	薬を飲まない人への対応検討参加
	サービス担当者会議への参加
	薬の情報をもらいたい
	かかりつけ薬局が無い時の支援
	薬局のみの関わりの人だと残薬管理が難しい
ツール	別の病院に行った時に何を飲んでいるか把握できない
	来院時にかかりつけ薬局がわからないので薬の内容がわからない
	お薬手帳を見ても薬の情報がすぐにわからない
	お薬手帳に病名が書いてあるとわかりやすい（本人に聞いても不明）
	お薬手帳の充実
	薬の配達
	夜間の訪問薬剤ができればいい
	グリーンベンチ&配達のできる薬局が増えるといい
	きちんと服薬するとポイントがたまるシステム作り
	飲み忘れ防止グッズカタログの作成
	患者本人向けの服薬忘れ防止ポスター作製
	服薬忘れや拒否等を防止するアイデア募集の企画立案
	服薬済みシールカレンダー作成
普及啓発	薬剤に関する勉強会（地域に向けて）
	かかりつけ薬局の必要性や活用についての助言
	服薬後に体調不良になった時の相談先の案内
	遠方の病院と近隣の病院を利用する場合どこをかかりつけ薬局にしているか
	薬局の選び方について教えて欲しい
	複数の病院受診している方の薬を管理する方法 どうやって選んだらいいか

各職種がどのタイミングでどのツールを用いて連携するのがいいか
お薬手帳に担当CMの名刺を挟む
一元化についてCMが気楽に薬局に相談する
本人もしくは関係者がネットワークの軽い薬局を選んで相談する
薬局の当番制をつくる
在宅対応可能な薬局を紹介する
市独自で当番制にフィー
薬局と薬局との連携
看護師の依頼で訪問するといいいのでは

問1. 講演内容は理解できましたか？

よく分かった	15名
まあまあわかった	23名
なんとも言えない	4名
あまり分からなかった	0名
まったく分からない	0名
記載無し	1名



問2. 意見交換会（ワーキング）は、有意義だと思いますか？

非常に有意義	22名
まあまあ有意義	21名
ふつう	0名
あまり有意義ではない	0名
まったく有意義ではない	0名



問3. 次の講演会や意見交換会（ワーキング）にまた参加したいと思いますか？

必ず参加したい	17名
まあまあ参加したい	25名
どちらともいえない	1名
あまり参加したくない	0名
参加しない	0名

問4. 本日参加いただいた意見交換会（ワーキング）は何回目ですか？

1回目	12名
2回目	11名
3回目	11名
4回目	3名
5回目	4名
記載無し	2名

問5. 以前に参加した意見交換会（ワーキング）で得た成果物がありますか？【複数回答可】

A 多職種が行う業務内容を知ることができた	30名
B 多職種と顔をつなぐことができた	22名
C 多職種と連絡をとりやすくなった	6名
D その他（自由記載欄に記入してください。）	2名

自由記載

前回のお話を聞いて直接薬剤師へ連絡できた

問6. 今後、在宅医療・介護連携推進事業のなかでどんなことをしてほしいですか？【複数回答可】

- |                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| A 多職種が集まる機会を今後も継続してほしい          | 34名 |
| B 各職種が順番等で講師役となり、自職種の紹介等を行ってほしい | 10名 |
| C 外部講師に依頼し、講演会を開催してほしい          | 9名  |
| D 医療・介護の社会資源に関するMAP等を作成したい      | 11名 |
| E その他（自由記載欄に記入してください。）          | 0名  |

自由記載

顔を合わせる機会が増えるのはいいことだと思います